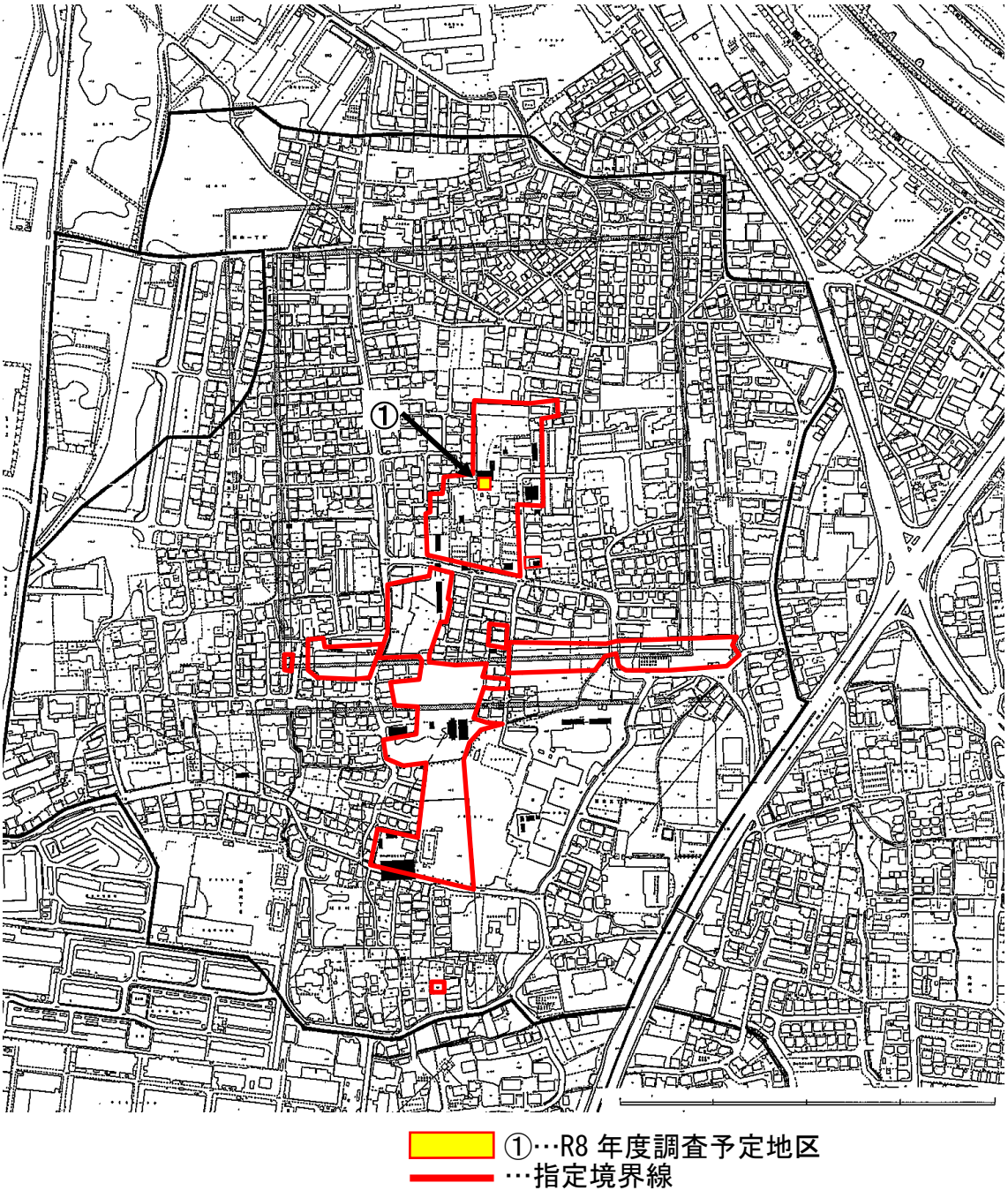
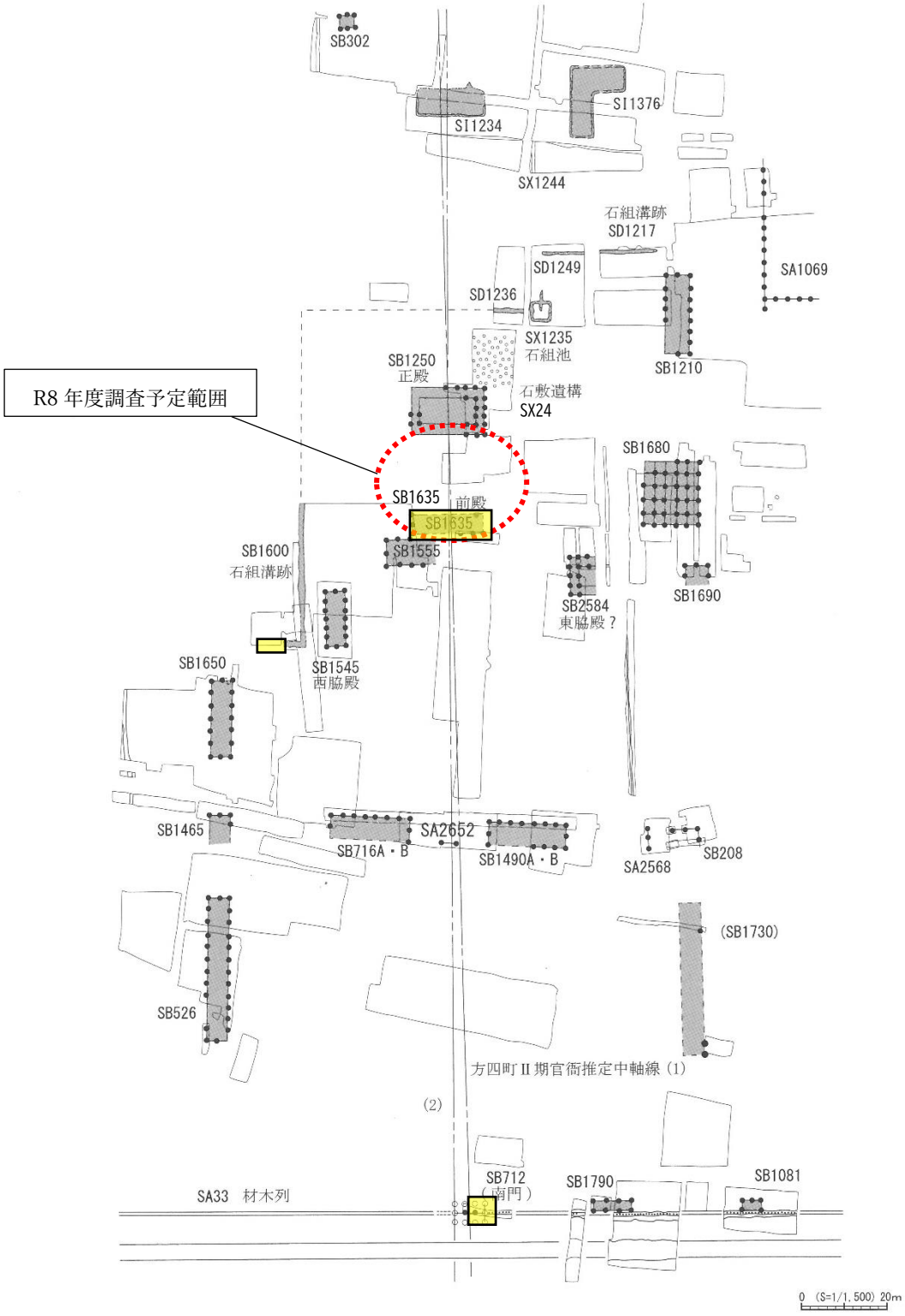
②報告事項　今年度の発掘調査　郡山遺跡について

令和８年度郡山遺跡の調査地点について

令和７年度に実施した第 341 次調査では、SB1635（前殿跡）が南北２間、東西６間の規模であることが確認されたが、北桁行における柱穴の掘り方の重複が部分的な調査に留まった。また、SB1250（正殿跡）の北側で検出されている SX24（石敷）が、SB1250(正殿跡)の南側や東側でも認められるかどうかはこれまで課題の一つであった。以上の理由により、令和８年度は第 341 次調査区を含め、北側に範囲を拡張した調査区を設定する。



令和８年度　郡山遺跡　発掘調査予定区　位置図①



…令和 7 年度第 341 次調査区

R8 年度　郡山遺跡　発掘調査予定区　位置図②